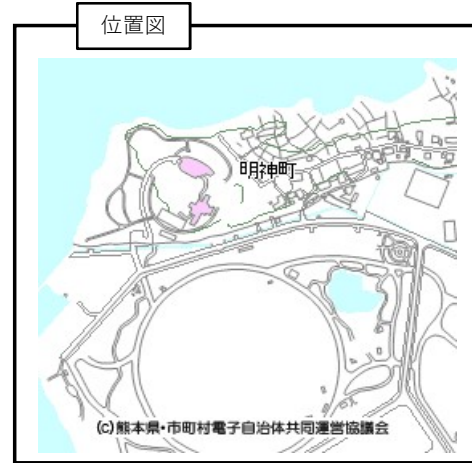


# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	41	施設名称	環境センター
	所在地	水俣市明神町	施設管理所属	環境立県推進課
	敷地面積	30,007.0 m <sup>2</sup>	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,655.1 m <sup>2</sup>	用途地域	第一種中高層住居専用地域
施設の目的	環境について正しい理解と認識を深めるための環境学習、情報提供の拠点			



(出典：県観光連盟HP)

## 2. 建物別一覧

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所棟	1993	RC	1,655.1	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 事務所棟

#### ① 概要

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所棟	1993	RC	1,655.1	3	0	28

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	6	17	22	21	0
適合度②/①	0.60	0.68	0.81	0.75	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年  
※(令和65年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和12(2030)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

A・B項目から導かれる方向性

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.8		143.0		84.3			18.8	4.6	13.0
維持管理費		7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
撤去費											
合計		46.1	7.4	150.3	7.4	91.6	7.4	7.4	26.1	11.9	20.3
累計		46.1	53.5	203.8	211.2	302.8	310.2	317.5	343.6	355.6	375.9

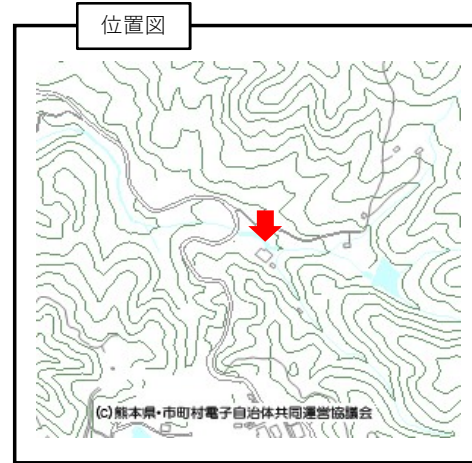
施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	42	施設名称	小岱山国民休養地
	所在地	玉名市築地	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	216.0 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的		自然と人との調和を保ち、自然との交流を図るためのレクリエーション施設		



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	ビジターセンター	1985	RC	216.0	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) ビジターセンター

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	ビジターセンター	1985	RC	216.0	1	0	35

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	13	14	12	3
適合度②/①	0.20	0.52	0.52	0.43	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年  
※(令和27年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

A・B項目から導かれる方向性

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		15.4		22.4			0.2		2.8		0.7
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		16.4	1.0	23.4	1.0	1.0	1.1	1.0	3.7	1.0	1.7
累計		16.4	17.3	40.7	41.7	42.7	43.8	44.8	48.5	49.4	51.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	43	施設名称	坊中野営場
	所在地	阿蘇市黒川	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	431.0 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的	キャンプ場施設			



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1995	RC	431.0	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 管理棟

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1995	RC	431.0	2	0	25

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	12	15	12	2
適合度②/①	0.30	0.48	0.56	0.43	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和37年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		37.1		15.6		58.7	0.1		3.0		2.4
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		39.0	1.9	17.5	1.9	60.6	2.0	1.9	5.0	1.9	4.3
累計		39.0	40.9	58.4	60.3	120.9	122.9	124.9	129.8	131.7	136.0

施設アセスメント調査から算出。

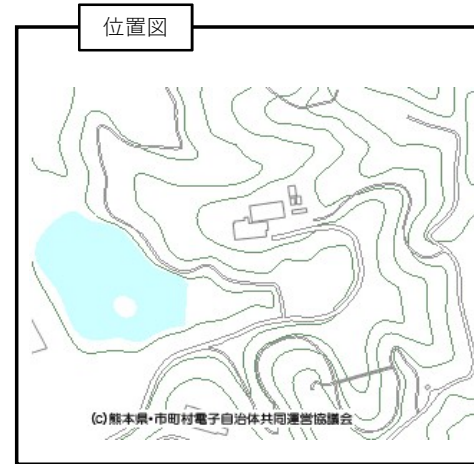
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	44	施設名称	鳥獣保護センター
	所在地	上益城郡御船町	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	2,856.3 m <sup>2</sup>	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	996.3 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的	傷病鳥獣の保護及び回復を図る場			

※敷地は御船町より借地



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1981	RC	996.3	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 本館

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1981	RC	996.3	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	13	14	12	4
適合度②/①	0.40	0.52	0.52	0.43	0.57

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和23年)
	・長寿命化要件に該当するが、継続利用(90年)への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。	

#### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		125.2		74.0			5.7		7.0	1.7	
維持管理費		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
撤去費											
合計		129.6	4.4	78.4	4.4	4.4	10.2	4.4	11.5	6.2	4.4
累計		129.6	134.0	212.5	216.9	221.3	231.5	235.9	247.3	253.5	257.9

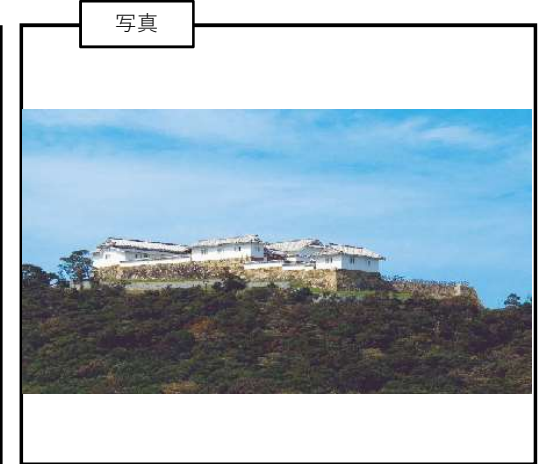
施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	45	施設名称	富岡集団施設
	所在地	天草郡苓北町富岡	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	568.2 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的	雲仙天草国立公園の内容を紹介するとともに天草地域の魅力ある自然景観、歴史、文化環境等についての情報を発信している。			



(出典：県観光連盟HP)

## 2. 建物別一覧

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	ビジターセンター	2004	W	568.2	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) ビジターセンター

#### ① 概要

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	ビジターセンター	2004	W	568.2	1	0	17

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	19	17	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.61	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和46年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		28.6		37.9	7.2	34.2	0.1		1.0	3.1	5.2
維持管理費		2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
撤去費											
合計		31.1	2.5	40.4	9.8	36.7	2.6	2.5	3.5	5.6	7.7
累計		31.1	33.6	74.1	83.8	120.5	123.1	125.7	129.2	134.8	142.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着眼して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	46	施設名称	天草ビジターセンター
	所在地	上天草市松島町	施設管理所属	自然保護課
	敷地面積	借地	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	427.4 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的	雲仙天草国立公園を訪れた人に天草の自然や歴史等を紹介する施設。			



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	ビジターセンター	1993	RC	427.4	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) ビジターセンター

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	ビジターセンター	1993	RC	427.4	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	19	17	14	2
適合度②/①	0.50	0.76	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和35年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や満足度に課題)	

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		0.7		80.8				1.4	1.8		5.4
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		2.6	1.9	82.7	1.9	1.9	1.9	3.3	3.7	1.9	7.3
累計		2.6	4.5	87.2	89.1	91.0	92.9	96.2	99.9	101.8	109.2

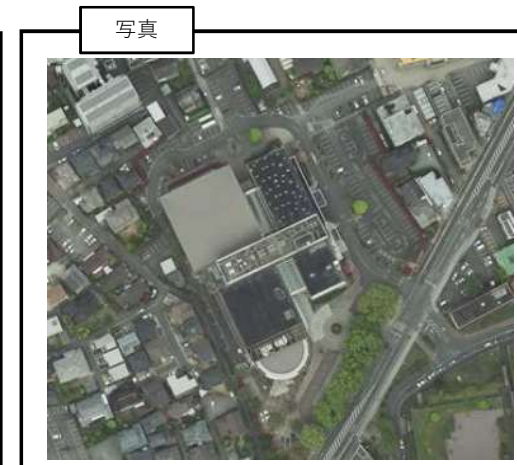
施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	47	施設名称	熊本勤労者総合福祉センター
	所在地	熊本市中央区水前寺	施設管理所属	労働雇用創生課
	敷地面積	18,487.7 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	6,120.8 m <sup>2</sup>	用途地域	第二種住居地域
施設の目的	勤労者のための各種相談、研修、スポーツ、宿泊施設			



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	テルサ本館	1996	SRC	6,120.8	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) テルサ本館

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	テルサ本館	1996	SRC	6,120.8	6	1	24

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	19	21	18	1
適合度②/①	0.50	0.76	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年  
※(令和68年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

A・B項目から導かれる方向性

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		19.2	9.7	870.0			173.1		4.8	5.6	72.2
維持管理費		27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2
撤去費											
合計		46.4	36.9	897.2	27.2	27.2	200.3	27.2	32.0	32.8	99.4
累計		46.4	83.3	980.5	1,007.7	1,034.9	1,235.2	1,262.4	1,294.4	1,327.2	1,426.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	48	施設名称	高等技術専門学校
	所在地	熊本市南区幸田	施設管理所属	労働雇用創生課
	敷地面積	20,095.9 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	4,658.8 m <sup>2</sup>	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的	各科目に応じた技術と知識についての訓練を行うことにより、有能な技術者の養成と職業人としての人間形成に努める。			



(出典: 国土地理院)

## 2. 建物別一覧

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1981	RC	720.4	
2	寄宿舎	1976	RC	833.8	
3	教室棟	1985	RC	1,351.6	
4	管理棟	1985	RC	1,753.0	

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 体育館

#### ① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1981	RC	720.4	1	0	40

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	20	21	18	0
適合度②/①	0.50	0.80	0.78	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和53年)

- 適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。
- 令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。
- 現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(職員満足度や道路アクセスに課題)
- 令和2年度専門学校改修計画に基づき、大規模改修を実施(R8年度予定)

### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦西暦	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		85.7									
更新・修繕費		98.4			0.4	4.5	2.1	3.6	0.9	0.0	
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	
撤去費											
合計		187.3	3.2	3.2	3.2	3.6	7.7	5.3	6.8	4.1	3.2
累計		187.3	190.5	193.7	196.9	200.5	208.1	213.5	220.3	224.4	227.6

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。



(2) 寄宿舎

① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	寄宿舎	1976	RC	833.8	3	0	45

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	7	13	11	10	2
適合度②/①	0.70	0.52	0.41	0.36	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年  
※(令和18年)  
・既存の建物を取り壊し、新たな建物の建築を検討する必要がある(建替に当たっては、規模や施設の集約化等についても検討する必要がある。適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用する)。  
・令和2年度専門校改修計画に基づき、建て替え実施(R4~R5年度予定)

(3) 教室棟

① 概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	教室棟	1985	RC	1,351.6	3	0	36

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	16	18	15	0
適合度②/①	0.50	0.64	0.67	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和57年)  
・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。  
・令和4(2022)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。  
・令和2年度専門校改修計画に基づき、大規模改修を実施(R4~R5年度予定)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		500.3									
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			0.7	1.3		4.5	2.8	0.7	10.6		
維持管理費		3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
撤去費											
合計		504.0	4.4	5.1	3.7	8.2	6.5	4.4	14.3	3.7	3.7
累計		504.0	508.4	513.4	517.2	525.3	531.9	536.3	550.6	554.3	558.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					160.8						
更新・修繕費		202.2		137.0		35.2	8.8		13.2		
維持管理費		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
撤去費											
合計		208.2	6.0	143.0	6.0	202.1	14.8	6.0	19.3	6.0	6.0
累計		208.2	214.2	357.3	363.3	565.4	580.1	586.1	605.4	611.4	617.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)管理棟

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	管理棟	1985	RC	1,753.0	3	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	16	18	15	0
適合度②/①	0.50	0.64	0.67	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数	90年
	※(令和57年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。
	・令和4(2022)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。
	・令和2年度専門校改修計画に基づき、大規模改修を実施(R4~R5年度予定)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						208.6					
更新・修繕費		184.5	9.8	291.4					28.5		
維持管理費		7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.8
撤去費											
合計		192.3	17.6	299.2	7.8	216.4	7.8	7.8	36.3	7.8	7.8
累計		192.3	209.9	509.1	516.9	733.3	741.1	748.9	785.2	793.0	800.8

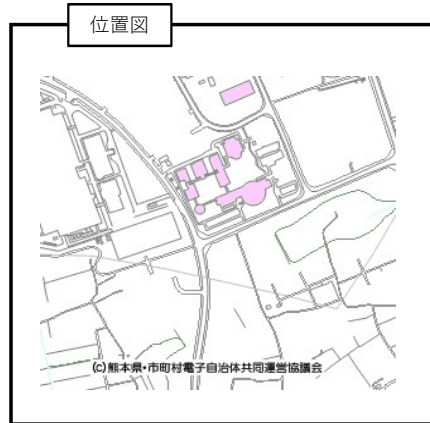
施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に注目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

基本情報	施設番号	49	施設名称	技術短期大学校
	所在地	菊池郡菊陽町原水	施設管理所属	労働雇用創生課
	敷地面積	60,025.0 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	12,366.1 m <sup>2</sup>	用途地域	
施設の目的	熊本県産業の高度化、高付加価値化に対応できる高度な技能および知識を兼ね備えた実践技術者を育成し、熊本県の経済社会の発展に寄与する			



2. 建物別一覧 面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本部棟	1997	RC	1,610.3	
2	学生ホール	1997	RC	296.0	
3	実習棟A	1997	RC	2,920.4	
4	実習棟B	1997	RC	2,034.4	
5	実習棟C	1997	RC	2,716.6	
6	講堂・体育館	1998	RC	1,044.0	
7	在職者セミナー棟	1998	RC	460.8	
8	映像システム技術科実習棟	2003	RC	1,283.6	

### 3. 建物毎の概要等

(1) 本部棟

① 概要 面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本部棟	1997	RC	1,610.3	2	0	24

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	20	16	2
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年  
※(令和69年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

A・B項目から導かれる方向性

#### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		138.2		88.9			103.9		11.5		
維持管理費		7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
撤去費											
合計		145.4	7.2	96.1	7.2	7.2	111.1	7.2	18.7	7.2	7.2
累計		145.4	152.5	248.6	255.8	262.9	374.0	381.1	399.8	406.9	414.1

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)学生ホール

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	学生ホール	1997	RC	296.0	2	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	20	17	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和39年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

(3)実習棟A

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	実習棟A	1997	RC	2,920.4	3	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	19	20	16	2
適合度②/①	0.30	0.76	0.74	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和69年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		25.4		9.0			26.5		2.1		
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		26.7	1.3	10.3	1.3	1.3	27.8	1.3	3.4	1.3	1.3
累計		26.7	28.0	38.3	39.6	40.9	68.7	70.1	73.5	74.8	76.1

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		119.4		276.5		144.0	43.9		0.8		36.6
維持管理費		13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
撤去費											
合計		132.4	13.0	289.5	13.0	157.0	56.9	13.0	13.8	13.0	49.6
累計		132.4	145.4	434.9	447.8	604.8	661.7	674.7	688.5	701.4	751.0

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)実習棟B

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	実習棟B	1997	RC	2,034.4	3	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	20	17	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.74	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和69年)  
・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		62.9		129.0		77.5	45.0		11.2		8.6
維持管理費		9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
撤去費											
合計		72.0	9.0	138.1	9.0	86.5	54.1	9.0	20.3	9.0	17.6
累計		72.0	81.0	219.1	228.1	314.6	368.7	377.7	398.0	407.1	424.7

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5)実習棟C

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	実習棟C	1997	RC	2,716.6	3	0	24

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	19	16	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.70	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和69年)  
・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		80.5		145.1			137.8		12.6		
維持管理費		12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1
撤去費											
合計		92.5	12.1	157.2	12.1	12.1	149.9	12.1	24.7	12.1	12.1
累計		92.5	104.6	261.8	273.8	285.9	435.8	447.8	472.5	484.6	496.7

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)講堂・体育館

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	講堂・体育館	1998	RC	1,044.0	1	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	21	17	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.78	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和70年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦 西暦	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.2		140.9				55.3	17.0		
維持管理費		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
撤去費											
合計		42.8	4.6	145.5	4.6	4.6	4.6	60.0	21.6	4.6	4.6
累計		42.8	47.5	193.0	197.6	202.2	206.9	266.8	288.5	293.1	297.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(7)在職者セミナー棟

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	在職者セミナー棟	1998	RC	460.8	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	21	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年  
※(令和40年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦 西暦	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		15.5	6.3	37.3		0.5	0.1	35.8	3.2		0.0
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		17.5	8.4	39.4	2.0	2.6	2.1	37.9	5.3	2.0	2.1
累計		17.5	25.9	65.2	67.3	69.8	72.0	109.9	115.2	117.2	119.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(8)映像システム技術科実習棟

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
8	映像システム技術科実習棟	2003	RC	1,283.6	1	0	18

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	21	18	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.78	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年  
※(令和75年)  
・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		6.4	51.6	84.8			2.5	17.6	0.1	9.0	
維持管理費		5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7
撤去費											
合計		12.1	57.3	90.5	5.7	5.7	8.2	23.3	5.8	14.8	5.7
累計		12.1	69.4	159.8	165.5	171.2	179.4	202.7	208.5	223.3	229.0

施設アセスメント調査から算出。  
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

# 個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に注目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

## 1. 施設概要

基本情報	施設番号	50	施設名称	産業技術センター
	所在地	熊本市東区東町	施設管理所属	産業支援課
	敷地面積	12,558.3 m <sup>2</sup>	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	9,078.7 m <sup>2</sup>	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的	産業技術及び農林水産物の加工に関する研究開発、指導及び支援、並びに適正な計量の実施の確保を行う			

## 2. 建物別一覧

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	電子機械分館	1984	SRC	2,132.7	
2	精密機械分館	1985	RC	2,000.1	
3	実験棟1	2009	LS	1,127.3	
4	実験棟2	2010	LS	494.3	
5	本館	2010	RC	3,324.3	



(出典：国土地理院)

## 3. 建物毎の概要等

### (1) 電子機械分館

#### ① 概要

面積：m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	電子機械分館	1984	SRC	2,132.7	3	0	37

※築年数はR3.3月末時点

#### ② 利活用の方向性

##### A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	17	19	16	0
適合度②/①	0.50	0.68	0.70	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

##### B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和56年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	

#### ③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				253.8							
更新・修繕費		113.8		255.7		7.5		30.6	3.7	2.1	
維持管理費		9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
撤去費											
合計		123.2	9.5	265.2	263.3	9.5	17.0	9.5	40.1	13.2	11.6
累計		123.2	132.7	397.9	661.2	670.6	687.6	697.1	737.2	750.4	761.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。



(2)精密機械分館

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	精密機械分館	1985	RC	2,000.1	3	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	20	18	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和57年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。  ・令和4(2022)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

(3)実験棟1

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	実験棟1	2009	LS	1,127.3	1	0	12

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	19	17	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和51年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						238.0					
更新・修繕費	133.6		109.9				0.4		58.5	3.5	2.0
維持管理費	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9
撤去費											
合計		142.5	8.9	118.8	8.9	246.9	9.2	8.9	67.4	12.4	10.9
累計		142.5	151.4	270.2	279.1	526.0	535.2	544.1	611.5	623.9	634.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				42.0	9.4	2.0			9.3	81.7	
維持管理費	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
撤去費											
合計		5.0	5.0	47.0	14.4	7.0	5.0	5.0	14.4	86.8	5.0
累計		5.0	10.0	57.0	71.4	78.3	83.3	88.4	102.7	189.5	194.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)実験棟2

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	実験棟2	2010	LS	494.3	1	0	11

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	21	18	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和52年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

(5)本館

①概要

面積: m<sup>2</sup>

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	本館	2010	RC	3,324.3	3	0	10

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	18	19	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.67	0.68	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。  
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m <sup>2</sup> 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和82年)
・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。		

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				16.1	2.7	4.1	0.9		8.3	3.2	3.9
維持管理費		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
撤去費											
合計		2.2	2.2	18.3	4.9	6.3	3.1	2.2	10.5	5.4	6.1
累計		2.2	4.4	22.7	27.6	33.9	36.9	39.1	49.6	55.0	61.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				89.0	16.5	8.2	4.2		27.1		126.6
維持管理費		14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8
撤去費											
合計		14.8	14.8	103.8	31.2	23.0	19.0	14.8	41.8	14.8	141.4
累計		14.8	29.5	133.4	164.6	187.5	206.5	221.3	263.1	277.9	419.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。